



【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

14	【種目別の評価⑤】 調理活動の評価について学習する。	講義、演習	【事前】教科書①や配布資料等を用いて予習する。	4
15	ADL に関連する基本動作、バランスについて学ぶ	講義、演習	【事後】教科書や配布資料、授業内容を振り返りまとめる。	4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照			

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		85	0	15	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	25	0	5	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	5	0	0	15

			評価のポイント	フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
試験	①	✓	期末に試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ教科書、提示資料、口頭説明の内容に基づいた問題が出題され、得た知識についてどの程度理解できているかが主に問われる。[配点]期末試験:75点、小テスト:10点	全体に向けた講評を授業時または Teams 上で行い、必要に応じて対面またはリモート等で個別に振り返りを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①		グループ発表を 1 回行う。「ADL 種目と対象者像に応じた福祉用具の活用について」がテーマとなる。自身の回答（主張）には根拠を示して説明する必要がある。また、グループ発表ではあるが、他人任せにすることなく個々が主体的にグループの成果のために貢献することが求められる。	授業内で、発表ごとに意見交換とフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として 10 年以上の臨床経験を有する。
実践的授業の内容	臨床で得た知見も取り入れて、日常生活活動に関わる基本的事項について教授する。
そ の 他	授業に臨む上での決め事を遵守すること。問題がある場合は退室してもらいます。